

令和 2 年 11 月 30 日
(公社) 日本観光振興協会
総合調査研究所

産業観光まちづくり大賞 2020 特別表彰について

(公社) 日本観光振興協会・全国産業観光推進協議会では、顕彰事業として平成 19 年度より「産業観光まちづくり大賞」を実施し、産業観光を通じた観光まちづくりを実践し、地域活性化に寄与した自治体や団体等を表彰してまいりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による観光事業への影響を鑑み、産業観光まちづくり大賞として新たな取組を募集することは中止いたしました。

しかしながら、当協会では、産業観光は緊急事態発生時においても持続発展力を持つ取組の一つであると捉えており、このコロナ禍においても産業観光事業に取り組んでいる地域や企業・団体を奨励し、全国の観光関係者に周知することは、コロナ禍の新たな観光に向けて、一つの指針を示すことにつながるものと考えております。そのため、従来の産業観光まちづくり大賞の代わりとして、過去にまちづくり大賞を受賞された団体の皆様にアンケートにご協力いただき、その中からコロナ禍でも独自の工夫を凝らしながら積極的に産業観光に取り組んでいる団体を選定し、表彰することといたしました。

この度、下記の 3 団体を選定させていただき、令和 2 年 11 月 18 日に三重県桑名市にて開催されました「第 20 回 全国産業観光フォーラム in 桑名」にて表彰式を執り行いましたので、皆様にご報告いたします。

特別表彰受賞団体：

- 公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー
- 燕三条プライドプロジェクト／「燕三条 工場の祭典」実行委員会
- 桑名市産業観光まちづくり協議会

受賞団体の取組紹介：

- 公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

【まちづくり大賞受賞時の取組】

(平成 20 年度 第 2 回産業観光まちづくり大賞 金賞)

浜松は車、楽器、オートバイなど、魅力的な産業観光資源が豊富な地であり、名古屋とならぶ産業観光の草分け的存在である。地域にはホンダ創始者の本田宗一郎、ヤマハ創業者の山葉寅楠など、ものづくり DNA が色濃く継承されている。これらの産業資源やものづくり風土を活かそうと、2001 年に「産業観光研究会」を立ち上げるとともに、2002 年

注：「まちづくり大賞受賞時の取組」内の数値は、各団体受賞当時のもの

には全国産業観光フォーラムを開催し産業観光への取り組みを本格化させた。この地域には現在、約 40 カ所の産業観光施設があり、年間約 120 万人もの観光客が訪れている。

浜松地区に限定せず、中部広域地区の広域と連携したツアールートの開拓、中国瀋陽や大連など海外市場にむけた教育旅行・企業技術視察旅行等のプロモーション活動を続け、高い実績に繋げている。

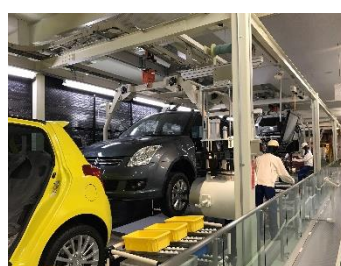
【昨今の取組】

・デジタルマーケティングの実施

コロナ禍において、ウェブでの観光情報検索の需要が高まっていることから、観光情報のデジタル化と受け入れ体制の整備に向け、産業観光施設を含む、浜松・浜名湖エリアの観光施設について、MEO 対策としてグーグルマップとトリップアドバイザー（日本語・英語）への登録を実施。

・企業視察ツアー（テクニカルビジット）の造成

エリア内の主要企業と連携し、企業視察ツアー（テクニカルビジット）の造成に向けて取り組みを開始。



○燕三条プライドプロジェクト／「燕三条 工場の祭典」実行委員会

【まちづくり大賞受賞時の取組】

（平成 26 年度 第 8 回産業観光まちづくり大賞 経済産業大臣賞）

新潟県燕三条地域は、作業工具や刃物、金属ハウスウェア等を主体とした金属製品のまちとして、日本でも有数の「ものづくりのまち」である一方、豊かな自然の恵みを活かした食材の宝庫でもある。

生産現場を舞台に、畑で朝食や作業体験を楽しむ燕三条「畑の朝カフェ」、地域住民自らがナビゲーターとなって、コースを組み立て、地域を案内する体験型プログラムを集めた「燕三条ものづくりの心に出会うまちあるき」、地域内の 50 を超える企業（2019 年開催時は 100 以上）が生産現場を公開し、ワークショップを行う「燕三条 工場の祭典」、ほぼ常時営業時間中の作業場を公開する「オープンファクトリー」などが行われている。

【昨今の取組】

・対策をしながら取組を継続

定員制の屋外イベントである利点を生かし、コロナ対策をとりながら、燕三条プライドプロジェクト「燕三条ものづくりの心に出会うまちあるき」、燕三条「畑の朝カフェ」を実施。

・「燕三条 工場の祭典」の新形態

燕三条のものづくりを発信し続けるための“新たな取り組み”として、10月1日～31日の1ヵ月間、技術や製品、職人など地域の魅力を動画とライブで配信する「燕三条 動画と配信」を実施。



○桑名市産業観光まちづくり協議会

【まちづくり大賞受賞時の取組】

(平成29年度 第11回産業観光まちづくり大賞 金賞)

トヨタ系の自動車部品メーカーであるエイベックス株式会社が、60年以上培ってきた自社のノウハウもサービスになるのではという考えから「海外からの工場見学事業」をスタート。世界50か国以上から年間3,000名以上の企業研修団を受け入れている。その取り組みを地域創生の一つと位置づけて桑名市とその周辺企業との連携で活動を波及させていくこととなり、海外の研修団にむけて幅広い企業見学の機会を提供し続けている。平成28年には、桑名市の新たな観光の軸として「産業観光」が位置づけられ、「桑名市産業観光まちづくり協議会」が設立された。

また、地域市民や次世代の地域を支える人材に対して、地域の魅力ある企業を伝える活動の推進にも取り組んでおり、「産業教育観光」として、より幅広い人たちに国際交流や企業を知る機会を提供し、地域の活性化に尽力している。

【昨今の取組】

・産業観光事業の拡大

桑名市内での参画企業の増加、活動の広がりから海外からの誘客増加や観光収益の増加につながっている。連携地域の拡大も計画しており、産業観光事業の拡大が進んでいる。

・「リモート産業観光」の実施

『リモート産業観光』を有料で開始。アフターコロナに向けた顧客との繋がりに留まらず、

新たな顧客開拓や新たなスキームの構築の可能性を見出すことに成功した。今後に向けて、物販との連携や、リアルでの観光に繋がる活動を計画している。



令和2年11月18日開催「第20回 全国産業観光フォーラム in 桑名」での表彰式の様子



表彰式では、全国産業観光推進協議会 須田会長より、表彰状の授与を行いました。
また、構想博物館キュレーター・多摩大学名誉教授の望月先生よりご講評を賜りました。

「第20回 全国産業観光フォーラム in 桑名」当日の様子は後日配信を予定しております。
詳細につきましては、別途ご連絡させていただきます。